

第14期 (2014/1/1～2014/12/31) 営業報告
及び
第15期 (2015/1/1～2015/12/31) 経営方針

2015年3月13日

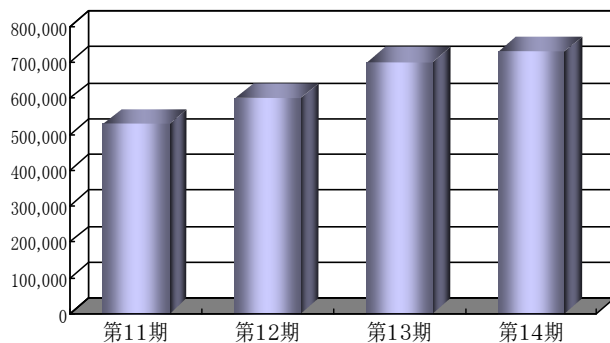
株式会社アーネスト・ビジネス・ソリューション

● 営業実績・推移

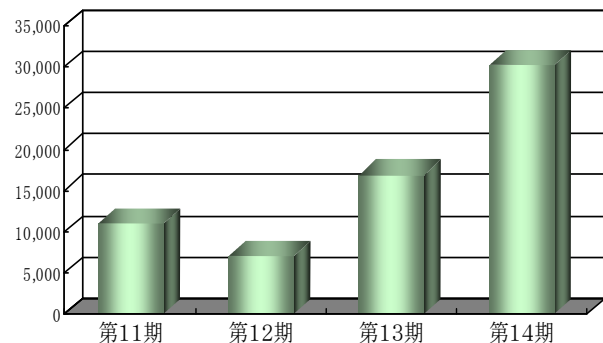
第14期において、前期に継続し単年度黒字化を達成、株主様への配当を実施いたしました。
(単位 千円)

部門 \ 年度	第11期 自 2011/1/1 至 2011/12/31	第12期 自 2012/1/1 至 2012/12/31	第13期 自 2013/1/1 至 2013/12/31	第14期 自 2014/1/1 至 2014/12/31
売上高	527,657	600,176	700,239	730,050
経常利益	11,040	7,029	16,844	30,175
当期純利益	5,676	3,770	7,083	19,629
1単元株当り当期純利益	6.28	4.18	7.85	21.68
1単元株当り純資産額	147.8	150.2	158.2	177.2
総資産額	242,141	279,215	318,680	387,248
純資産額	133,492	135,463	142,685	160,377
発行済株式数	9,084株	9,084株	9,084株	9,084株

(注) 1単元は10株。第14期末時点の単元株個数は905個。



売上高推移



経常利益推移

● 活動概況

- 2014/ 1 金融総合専門誌ニッキン1月17日号に「innoRules」紹介記事掲載
- 2014/ 1 「innoRules Version 6.8」リリース
- 2014/ 1 JBCC社と「innoRules」の二次販売代理店契約を締結
- 2014/ 2 韓国法人のKBデータシステムズ社と「ATLAS」の総販売代理店契約を締結
- 2014/ 3 公益財団法人金融情報システムセンター (FISC) の訪韓支援
- 2014/ 3 金融総合専門誌ニッキン3月21日号に「eSCOFI」紹介記事掲載
- 2014/ 6 NPO金融ITたくみs様オープンセミナーにて講演
- 2014/ 6 「eSCOFI-ATLAS」の名称、List Priceが決定
- 2014/ 9 住信SBIネット銀行様の社内勉強会にて講演
- 2014/10 CMCセミナーにて「eSCOFI-ATLAS」紹介
- 2014/11 「eSCOFI」が日本IBM社の次世代基幹系アーキテクチャーにて
融資・ローン領域のソリューションの一つとして位置付け

ほか

● 営業目標 (2015年1月1日～2015年12月31日)

- 売上目標 **85,000万円** 前期比 + 16%
- 営業利益目標 **6,500万円** 前期比 + 116%
- 社員数 **60名** 前期比 + 13%

(注) 社員数は、期末時点の常勤役員数であり、契約社員、受入出向者等は含みません。

● 事業方針－今期の取り組み

● 内部統制の強化

コンプライアンスにかかる活動の実践といたしましては、プライバシーマークおよびISMSの更新審査の合格を得て一定の成果を残すことができました。また、衛生委員会の運営、弁護士や社会保険労務士との顧問契約の締結によるリーガル面での体制強化などを通してコンプライアンスの向上を図ってまいりました。

来期も引き続きこれらの適切な運用に努めることにより、更なるコンプライアンスの向上に取り組んでまいります。

● 中期経営計画について

来期を迎えるにあたりまして、第四次中期経営計画(2015～2017)を策定いたしました。その中期ビジョンとして、①「堅実な経営目標を立て、業界有数の「強小企業」となる」②「金融ITソリューション・ベンダーとして「The one and only !」を目指す」③「新たなビジネスモデルの創出を図る」の3点を掲げました。

第四次中期計画達成の為に、eSCOFI、eSCOFI-ATLAS、innoRulesを軸としたパッケージ販売に加え、新規ビジネスモデルの創出を含めたソリューション事業の成長が大きな鍵であり、引き続き内部体制の強化に努めるとともに社外の有識者、支援者の協力も得て、目標の実現に邁進する所存であります。また、大手のSIerやコンサルファーム、エンド・ユーザとの連携、深耕も積極的に行い、開発案件の確保に努めるとともに、新たな人材の採用により外注依存度を下げ、利益水準を底上げし初年度の目標を達成すべく全社一丸となって取り組んでまいります。人材投資、開発投資、営業開拓の何れにおいても経営資源の選択と集中を行い、スピード感をもって柔軟な組織運営にあたり、利益創出型の「強小企業」となるとともに金融ITソリューション・ベンダーとしての「The one and only !」を目指してまいります。

● 組織・体制について

来期の組織体制としては、当期の組織体制を維持しつつ、収益管理の一元化、臨機応変な要員配置、採算性の維持・向上を図ってまいります。

● 第15期体制について

組織図

